



三郷小学校

学校ホームページも是非ご覧下さい。 <http://syou.oita-ed.jp/hakatu/misato/>



令和元年6月26日(水)
学校通信 第4号
三郷小学校 校長 梶原 直樹

山国地区連携推進部会 発足

県下で唯一、取組の遅れていたコミュニティ・スクール「学校運営協議会」(以下CS)の取組が本年度今津小・中学校で開始されました。1小学校、1中学校の利点を生かし稼動したところです。山国地区も来年度から本格導入する計画で、三郷小学校と山国中学校『山国地区連携推進部会(仮)』を発足しました。月に1回管理職が集まり、組織作りに向けた骨子作りを行っています。

コミュニティ・スクールは、学校と地域が連携し合い、一体となった教育を推進するものです。全国各地で推進されていますが、地域の実情や学区の状況などを考慮しながら、特色あるCSを展開しているようです。

山国地域では、児童生徒数の減少が見込まれ、様々な面で連携協力しなければならない状況があります。行事の連携や人材活用、各種支援などこれまで以上に組織的に計画的に推進することが急務となっています。今年度中に行事の連携や協議会の組織構成や構成員の選定などを完了し、来年度の本格実施につなげていかねばなりません。

地域の方々に、山国地区の学校を核とした学校運営協議会への理解と協力をお願いしていかねばなりません。どうぞよろしくお願い致します。

第1回 教育事務所訪問

6月17日(月) 本年度初めての中津教育事務所訪問がありました。事務所長も交代し、新体制の下での訪問でした。子どもたちにつけたい力、学校教育目標、取組指標などについて指導・助言をもらいました。ミドルリーダーが主体的に学校経営に関われるように、教師も、子どももそれぞれ『意志』をもって取り組むことが本年度のテーマです。教務主任、研究主任が本校の方針や取組を立派に説明してくれました。

学校の体制として、認めていただくことができました。ただ、細かい課題も指摘され、今後の学校経営で解決していかねばなりません。

学校からの説明と事務所からの指導助言



前回から、設定された参観時間内で指導主事は自由に参観できるようにしている。大名行列型の廃止。

『予め(あらかじめ)災害は忘れた頃にやってきます。子

どもの生活するときに学校が火災になることはあまり想定できません。しかし、避難の仕方、経路、指示の仕方等々基本動作が身につけてこそ、安全が確保できます。新1年生への指導と、在校生への確認として、今回は火災の避難訓練をしました。どんな災害に

避難訓練 (火災)

おいても、自分の身を守る事が最優先。

次回からは、職員にも予告せず、突然の訓練を行うことを伝えました。災害はいつ起こるかわかりませんから…。ハンカチを所持していない子どもが多いことも課題に！





三郷小学校

学校ホームページも是非ご覧下さい。 <http://syou.oita-ed.jp/nakatu/misato/>



令和元年6月26日(水)

学校通信 第4号

三郷小学校 校長 梶原 直樹

待ちに待ったプールの季節!

今年は、空梅雨を思い浮かべてしまうほど雨の少ない入梅を迎えました。子どもたちにとっては、外で思い切り遊べるのですが、農家にとっては深刻な問題です。ほどよく雨の降る梅雨を期待しています。

さて、そんな中6月5日(水)にプール開きをしました。元々水温の高い三郷小学校ですが、とても気持ちのよいまさにプール開き日和でした。プール開きに先立って、5、6年生がきれいにプール掃除をしてくれたお陰で、気持ちよく利用開始です。

2～5年生は、バディ(2人組)となり、先生の指示に従います。新1年生は、6年生とペアになり、深い大プールで活動しました。通常1、2年生は、浅い小プールでの学習ですので、楽しみもひとしおです。

諸注意を聞いて、水の入り方や安全な取り組み方をしっかりと肝に銘じました。

山国の子どもたちは、どちらかという泳ぎの得意ではない子どもが多いようですが、限られたプールの時間で、自身の記録更新を目指してクロールや平泳ぎなどの泳法を身につけてほしいと思います。泳げると言うことは、単に泳法のマスターだけではなく、もしもの時に自分のみを助けることにも繋がります。頑張り三郷っ子!



勇士による模範水泳も披露されました。

地域の方々とともに 田植え

5年生の教育課程には、稲の成長の学習内容があります。昨年度は、諸事情により田植え(餅



米)の体験ができませんでしたが、本年度は、たくさんの方々の協力のおかげで、大々的に田植えから収穫までの学習の見通



しが立ちました。作付面積もこれまでより広げ、5アール(約5畝)をお借りすることになりました。

いつもたくさんのご協力をいただいている小西弘高・恵美子さんの水田を無償でお借りできました。また、代かきなどの作業は、山国農業公社の支援と協力をいただき、やっていただきました。



6月11日(火)快晴の天気のもと、5、6年生、小西さんご夫妻、吉瀬友邦さん、小田弘さん、渡辺繁晴さん、山国農業公社の方々、保護者からは井上健次郎さんとたくさんのご協力をいただきました。植え始めは、手間取っていましたが、徐々にコツをつかんで、きれいに植え付けました。子ども曰く、「機械はすごい!」「昔の人は大変!」と体験かつならでの感想をもつこともできました。収穫が楽しみです。